



市民の理解と納得を得ながら進めるごみ政策

6月議会において「ごみ政策の実態把握と評価」について一般質問を行いました。「分別の実態や誤排出の状況」「分別支援ツールの使いやすさ」「資源化の成果と市民への共有」「リチウム電池による事故対策」「ごみステーション管理と地域負担」といった個別の施策に加えて、『施策全体としてどのように機能しているのか』という観点から、実態の把握と評価について質しています。

現状の課題

- ・分別や資源化について一定の成果があるが、データの把握や分析は十分ではない
- ・分別の成果が市民に十分に伝わっているとは言い難い
- ・ごみステーションの管理など、地域の負担が大きい



私からの提言

- ・個々の施策の成果や課題を把握・評価するとともに、それらが相互に関連して全体で機能することが重要
- ・成果や課題の共有を通じて、市民の理解と納得を深めること
- ・地域に負担が偏りすぎないように、負担軽減を図ること



市からの答弁

- ・各段階における課題を抽出するとともに、処理システム全体の再点検・改善を行うことにより、持続可能な循環型社会の実現に向けた取組を推進する
- ・分別方法の周知徹底や不適切排出への対策などにより自治会や地域住民の皆様の負担を軽減するとともに、皆様に取り組んで頂いている資源化を含む、ごみの再生利用実績の更なる情報発信を行っていく



引き続き、現場の実態を踏まえながら、ごみ処理システム全体の改善につながるよう進めていきます。議場での質疑の様子は、沼津市議会ウェブサイト(左記QRコード)で実際の映像を視聴いただけます。



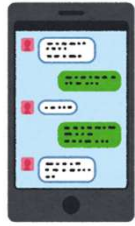
捨てる前にできることがあります ～ごみを減らす身近な取組～

ごみを減らすためには、市の取組だけでなく、一人ひとりの行動が大切です。分別を支援するアプリや、ごみを再利用するサービスをご紹介します。

分別を支援する「さんあ～る」

ごみの分け方や出し方、収集日が確認できる「さんあ～る」アプリをお試しください。分別方法を確認することで出し間違いを防ぐことができます。

4月より、文字だけでなく写真での検索も行えるようになっていました。



「さんあ～る」

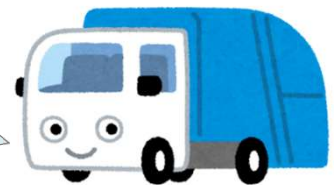
捨てる前に売る「おいくら」

使える不用品がありましたら、沼津市が連携協定を締結している、不用品一括査定サービスの「おいくら」をお試しください。処分費用や搬出の手間を無くせるかもしれません。令和7年度は958品の利用がありました。



「おいくら」

市でも清掃プラントに持ち込まれた廃棄物から使える物を選別して「メルカリShops」で販売する取組を実施中。令和7年度は、出品数：219品、販売数：163品、販売額：約21万円、ゴミ削減量：約300kgの成果が出ています。

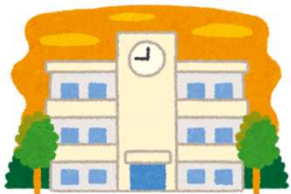


学校跡地の活用に向けた検討が始まります

令和8年3月31日をもって閉校となった第二小学校及び千本小学校、令和9年3月31日をもって閉校となる第二中学校の学校跡施設活用について、民間事業者のアイデアやノウハウを活かしながら検討を進める「サウンディング型市場調査」が実施されます。

民間事業者から提案を受ける内容

- ・跡施設を活用した地域の活性化に資する事業の方針や内容、利活用に関する提案
- ・跡施設における災害時の周辺住民の防災機能を担うことができる提案
- ・考えられる事業方式、管理運営体制や手法
- ・利活用可能な用途、範囲、事業期間
- ・整備、改修内容 ほか



7～8月
説明会・現地見学会

8～10月
サウンディングの実施

11月頃
実施結果の公表

(時期未定)
結果を踏まえて、
事業者公募等の実施を検討



ぬまづ
昔ばなし

市が「メルカリShops」で販売している品は誰でも購入可能。よろしければご覧ください。学校跡地は、地域にとっても重要な資産です。地域の声を踏まえながら、持続可能で価値のある活用となるよう注視していきます。ぬまづ昔ばなし 第14巻「天神さんのしおり(片浜地区)」は秋に発刊予定です。

